契約変更理由書

神戸市

工　事　名	垂水図書館建設工事に伴う雨水幹線移設工事

契約変更後の工事概要

管きょ工(開削)　φ1100 布設工:L=63.2m、φ700 布設工:L=8.7m
ﾏﾝﾎｰﾙ工　組立箱型ﾏﾝﾎｰﾙ:N=1 箇所、組立 3 号ﾏﾝﾎｰﾙ:N=1 箇所
組立 4 号ﾏﾝﾎｰﾙ:N=2 箇所、組立 5 号ﾏﾝﾎｰﾙ:N=1 箇所
付帯工　1 式

下記の理由により、設計変更を行う。

・埋蔵文化財調査の掘返しや土質状態により、工事ヤード内の地盤支持力が低下しており、大型重機の転倒等の恐れがあることから、重機走路部の表土改良を行った。このため、表土改良費が増となる。

・現地を掘削したところ、床付け面からの湧水の湧出量が多く、管およびﾏﾝﾎｰﾙの据付が困難であることが判明したことから、施工性確保のためｺﾝｸﾘｰﾄ基礎を追加した。このため、基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ工が増となる。

・当初設計では、雨水幹線移設部のｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの復旧については、撤去品を再利用する計画であったが、建設局駅前魅力創造課より、今後予定している垂水駅周辺の舗装デザインの統一を図ることおよび異常高温対策として保水機能をもたせたﾌﾞﾛｯｸの設置を進めていく方針であり、当工事の復旧箇所について先行敷設するよう依頼があったことから、保水機能を持ったｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの新設費および既設ブロックの処分費が増となる。

・管きょ敷設時に支障となるシェルターについて、現地精査の結果、ボルト等の部品の劣化が判明し、新規部品の購入が必要となったため、その分の材料費が増となる。また、現場施工方法の精査を行ったところ、25t ﾗﾌﾀｰｸﾚｰﾝの使用が必要と判明したことから、重機の費用が増となる

・当初設計ではバリケード等による防護を想定していたが、住民からの要望により、既設の建築用の仮囲いを流用した防護にしたため、仮囲い移設費が増となる。

・道路管理者との協議により、仮導線への点字の敷設の指示があったため、仮設点字ﾊﾟﾈﾙ施工費が増となる。

（公表様式第6号）